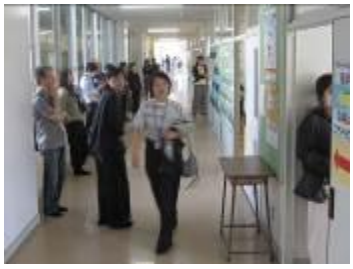
令和８年度　清瀬市立清瀬第五中学校　校長室たより　10月ノ３号　発行日 R8,10,21　五中 HP

ひまわりノ畑

教育目標　思索・和敬・剛健
学校スローガン　笑顔と あいさつ そして ありがとう

http://www.kiyose.ed.jp/kiyosedaigotyuugakkou/index.htm

10/15~17の三日間は「清瀬教育の日」



清瀬市教育委員会では、「市民の教育への関心を高めると共に、次代を担う子供たちの教育に関する取り組みを市民全体で推進し、清瀬市における教育の充実と発展を図るため、学校・家庭・地域などが協働した取組を行うこと」を目的として、毎年 10 月中旬の三日間を「清瀬教育の日」として、１１月第一土曜日に実施されている「東京都教育の日」に先駆け、さまざまな取り組みを開催し、各学校でも授業公開や講演会などを実施しています。本校でも 10/15(木)～17(土)の三日間を授業参観日として、保護者、地域の皆様に学校の公開を行うとともに、道徳授業地区公開講座や、がん教育講演会、進路説明会（全学年保護者対象）、サポートルーム公開等も実施しました。三日間で、のべ１５０名ほどの保護者、地域の方々が来校されました。ありがとうございます。

①「仕事を持つということは」 職業講話　2年キャリア教育　10/16(金)



２学年では、11/25(水)から予定されている職場体験向けて、総合的な学習の時間や学活の時間を使い、体験先の職種についての調べ学習や、体験発表会に向けての事前準備などを進めています。その一つとして、10/16(金)にハローワーク三鷹の関氏をお招きして、職業についての講話をして頂きました。職業の種類は細分すると２万種もあり、社会を形成するには、どの職種も欠かせないものであり、「職業を持つ」ということは、単に生活費を得るというだけではなく、「社会を形成する社会人の一人」となり、他の人、社会にとって、欠かせない存在になることだと、知りました。職業を持とうということは、自分はどう生きるのかを考えることであると、改めて思いました。

②「目標を決めるとき」 第2回進路説明会　3年キャリア教育　10/17(土)



10/17(土)の 4 校時に、第２回進路説明会を開催し、１、２年の保護者も含め７０名のご参加があり３年生保護さました。今回は生徒と保護者の方が横に並ぶスタイルで説明をさせて頂きました。

中学校では、３年間を通して、学校で体験したことや得た知識をもとに、自分を見つめて自己理解を深め、将来したいことは何か、どんな挑戦をしたいか、どのような職に就きたいのかなど、自分の生き方を見つめるキャリア教育に取り組んでいます。そして３年生は卒業まで後５か月とり、いよいよ具体的な進路先や受験の方法を考える時期になりました。

現在、具体的な将来の目標を持つ人や、チャレンジをすることが決まっている人は、それに繋がる進路先、具体的な目標まではまだハッキリとしていなくても、将来の生き方のイメージがある人は、その方面への進路先、まだいろいろ迷っている人は、多くの体験や経験が出来る進路先を目指すことになると思います。

先日、新入生を対象とした「学校選択申請希望者対象学校説明会」を開催し、数名の保護者の方がご参加下さりました。清瀬には５つの公立中学校があり、それぞれに特徴や学校生活の違いはありますが、同じ清瀬市の教育目標のもと、同じ教科書を使い、大きな学校行事もほぼ同じ、学校間で連携もしておりますので、教育内容に驚くほどの差はありません。しかし、皆さんの卒業後の進路先は千差万別です。自分の希望にあった進路先を選ぶのは大変です。また入試制度も多種多様で、手続きも様々です。目指す進路先をどこにするのか、どんな受験方法で挑むのかなど、ご家庭でじっくりと相談して頂けると助かります。学校の教職員一同は、生徒の皆さん一人ひとりの進路に向けて、全力でサポートをしていきますので、よろしくお願いいたします。

③「がんという病気を通して、生き方を考える」がん教育　3年 10/16（金）



がん教育は、厚労省と文科省が連携して進める「がん対策推進基本計画(H24)」により、「子どもたちが、健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識と、がん患者に対する正しい認識を持てるようにすること」を目的に、東京都も推進する学習で、清瀬市では教育事業所が提供する「複業先生」という取組を活用して、現役医師による講演会などを実施しています。本校では 10/16(金)に、３年生を対象にして、外科医の有路氏を講師としてお招きして実施しました。昨年は、オンラインでの講演でしたが、本年度は、ご多用の中、来校して頂くととなり、対面での実施となりました。

癌とはどのような病気で、どのよう治療方法があるかなどの説明とともに、身近な人や自分自身が罹ってしまった時の向き合い方や、命や人生をどう捉えるのかなど、いろいろな視点でのお話を頂き、生き方を考える学習でもありました。ありがとうございました。

④「つなげよう命の輪　献血」道徳授業地区公開講座　10/17（土）



今年の道徳授業地区公開講座では、学校支援本部の皆様のご協力を得て、東京都赤十血液センターの坂本氏を講師にお招きして、講演会を実施しました。３年生は前日に実施した「がん教育」に続いて、医療に関わるお話で、命について考える時間でした。２年生の理科でも、体のつくりの単元で血液について学びますが、医療という面からのお話を聞くと、生徒の皆さんは、より命ということを意識してくれたと思います。手術や大きな怪我した際に、輸血が必要ことは、おぼろげに知っていましたが、輸血といっても色々な種類があることや、血液から精製される薬もあること、献血といっても様々方法があることも知りました。そして何より、街の人々による「血液の無償提供」というボランティアが基盤となって成り立っているという事実に驚きます。一年間で４９９万人（2024 年）の方が協力をしているとのことですが、「人の善意」により、医療を支えているという素晴らしさを感じます。しかし、輸血用の国内自給率は達成しているそうですが、製薬用は達成しておらず、国内生産だけでは足りずに、薬は輸入に頼っているとのことです。頂いたパンフレットの表紙の右上に「人間を救うのは、人間だ」という言葉が小さく書かれていますが、将来皆さんが、献血というボランティアを通して、人を救う活動に参加してくれたら、嬉しく思います。

自然だより 2026 in Kiyose 天文編 05　　R8,10,21

秋・冬の流星シーズン到来！「オリオン座流星群」



空気が澄んでくる秋となり、夜に星を眺めるには良い季節になってきました。

そんな中、秋冬の流星シーズン到来をつげる「オリオン座流星群」が今やって来ています。紹介が遅くなり、極大日は、10 月 21 日夜～22 日明け方と過ぎていますが、ピークがなだらかな流星群ですので。まだ、数日は流星をゲットするチャンスがあります。冬の星座のオリオン座が、南に高くなるのは未明にですが、その頃、月は西に沈み、月明かりはなくて、観測に良いです。１時間に１０個と少なめですが、明るい流星が多く、ちょうど、オリオン座の近くに、火星と木星もいますので、良い風景になると思います。

秋の「オリオン座流星群」と春の「みずがめ座流星群」は兄弟流星群で、共に母彗星は「ハレー彗星」です。ハレー彗星は、公転周期は約７６年の大型彗星で、毎回太陽に接近すると、夜空に大きな尾を出して、流星群の下になるチリをまき散らしてくれます。前回の 1986 年は日本でも観測できました。次回戻ってくる 2061 年７月は、軌道の条件が良くて、０等級まで明るくなり、大きく伸びる尾が観測できるのではと期待されています。楽しみです。

【お知らせ】「H＆S」の利用再開は、１１月の見込みです。

10 月 16 日(金)22:00 より、欠席連絡等に利用いただいておりますスマホアプリ「ホーム＆スクール」のサービスが緊急停止状態となり、ご迷惑をおかけしており、大変申し訳ありません。

10 月 13 日に公的機関より周知されたスマホアプリのセキュリティに関する注意喚起を受け、緊急予防措置として停止を行ったとのことです。報道にもありますように、現在、様々なウェブサイトで、同様の対応がされているようです。業者による今後の利用再開の見込みは、１１月になるとの連絡がありました。しばらくの間、欠席連絡等につきましては、別紙通知のように、フォーム又は、電話でのご連絡をお願いすることになります。ご不便をおかけしますが、ご理解をお願いします。